平成２０年度大津市事務事業評価（二次評価）事業仕分け結果

班　　別	第１班	時　　間	16：10～16：35
事　業　番　号	１０	所管部課名	教育委員会　市民スポーツ課
事　　業　　名	市民体育大会等開催助成事業		
事業仕分け結果	市民体育大会は、（５）市実施（民間委託化） チャレンジ比良登山大会は、（６）民営化（NPO、地域団体含む）		

事業名		市民体育大会	チャレンジ比良登山大会
内訳	（１）不要	－	－
	（２）国及び県実施	－	－
	（３）市実施　現行通り	－	－
	（４）市実施　内容・規模見直し	－	－
	（５）市実施　民間委託	３人	１人
	（６）民営化（NPO、地域団体含む）	２人	４人

【事業仕分け判定に係る意見】

・　市民体育大会、チャレンジ比良登山大会ともに、直営で実施する事業ではない。

・　市民体育大会は、体育協会への委託が適当であり、市職員の人件費関与をなくすべきである。

・　登山大会については、ＪＲ西日本等の事業実施によって利益を得る企業による民営化を検討すべきである。

事業仕分け発言要旨	
コーディネーター・評価者	事業説明者・補助者
	・　事業概要説明（省略）
（コーディネータ） ・登山大会について、単なるハイキングのように思えるが、なぜ 30 年も続けているのか。	・合併前の志賀町において実施していた事業で、観光振興事業として町を挙げて開催してきた事業と聞いている。
・手元のチラシには、参加費が 2,000 円とあるが、事業概要シートの収支には計上されていない。どういうことか。	・参加費は、運営委員会の収入になるため、市の収入には計上されない。
・運営委員会は市にあるのではないのか。	・市民スポーツ課内にある。
・補助金事業という理解で良いか。	・そのとおり。
・補助金交付事業に今年度０．３人も従事するのか。	・運営委員会の事務のサポートを市の職員が行うほか、開催当日の運営にも従事している。

・実質的には直営に近いということか。	・そのように言えるかもしれない。
・ＪＲ西日本でもこのようなイベントを実施しているが・・・。	・知っている。
・今年は休止とのことであるが、市民体育大会への開催補助の金額はどの程度か。	・350 万円である。
・これも事務局は市にあるのか。	・そのとおりである。
・市体育協会の事務局も市民スポーツ課にあるのか。	・市役所内に体育協会があり、専従の職員が３名いる。
（コーディネータ） ・体育協会から家賃はもらっているのか。	・もらっていない。
・体育協会がかなりの面で関与しているようだが、運営を協会に委託するのは可能か。	・可能であると考えられる。
・開催に関連する事務も含めて委託したいということか。	・そのように考えている。現状では、職員がイベントの運営に忙殺されているが、委託することによって、本来すべき企画立案業務に専念できると考えている。
・実質の従事人数は、シートに記載されている０．３人より、もっと多いということになるのか。	・実質的にはそのとおりである。
（コーディネータ） ・開催当日の運営には、市の職員も多数従事しているのか。	・そのとおりである。
（コーディネータ） ・主催者を体育協会にして、それに対して開催資金を出すという形にしたいということか。	・そのとおりである。
（コーディネータ） ・市としては、市民体育大会は継続したいという考えなのか。	・そのように考えている。